

絵描き井上ヤスミチの ムダなもの④が すきでして...③

自作の木製コンポストで 5人家族の生ごみ堆肥化

2016年の秋からごみっと・SUNの表紙イラストを描かせていただいている井上ヤスミチです。ごみっと・SUNの中にエッセイのようなものを書いてみないかとの誘いをいただきまして、絵筆じゃない文章の筆をとることになりました。ごみ問題のことはわからないので、一見ムダに思えることにも有用なものがあるよなあというぼんやりしたくくりで書いていこうと思います。

今回は、我が家のコンポストの話。タイトルに反して「ムダなもの」に見えないエコな話になってしまいました。

こちらのエッセイの依頼をいただいた去年の今頃が、家に余っていた木材を使ってコンポストを作って生ごみを入れはじめた頃でして、当時その様子をエッセイに書いてみてはと言っていたのですが、まだ作って日が経っておらず経過や感想などを書ける段階ではなかったので保留に。それから1年ほど経ちましたので、実際にやってみての感想など記事にまとめてみます。

以前、自由にできる庭付きの古い借家に住んでいた時期があり、そこで約5年間くらいダンボールコンポストで生ごみを堆肥化して使っていたことがありました。

その後、越した今の借家は庭が無く、堆肥ができて使う場所が無いのでコンポストは断念していたのですが、引っ越して5年経ち、大きなプランターも増えたりして生ごみ堆肥化への気持ちが再燃。10年前と比べて一般家庭向けのコンポストの情報もネットにたくさん上がっていて、それらも気持ちを焚きつけるのに役立ちました。

使用後に朽ちて都度捨てるダンボール製よりも、木でしっかりしたものを作って長く使えたいほうが良いなと思い、アトリエにたまっていた不要な木材の処分も兼ねて、ガレージの隅に常設するタイプのコンポストを作りました。

基材はプランターで使い古した土ともみ殻くん炭。毎日野菜くずを投入してかき混ぜて空気を入れてあげれば微生物たちも喜ぶでしょうが、僕自身がズボラなためについ野菜くずをためてしまいます。数日に一度、たまった

野菜くずを投入して混ぜています。栄養付加のために、時々米ぬかを入れています。経験上、骨や貝殻や卵の殻は形が残るので入れません。我が家は人がよく通る道に面していて、プランターの土に骨がゴロゴロ混じっているとイメージもちょっと良くないと思うので。

1年の間に二度ほど中身を取り出していますが、野菜くずは時間をかけて分解されて、土のような見た目になりました。そのままだと半熟状態なのでしばらく置いて完熟させた後にプランターの土に混ぜています。しかし我が家は北向きであまり日が当たらないのでそもそも大きな野菜などは育てておらず、果たしてできた堆肥が植物の成長の役に立っているのか効果は不明です。堆肥化できた量が増えてきたので、今年は肥料を一切買わずにプランターの花やハーブが育つものかどうか、経過を観察してみようと思います。

最後に、子どもが3人いる家庭でコンポストを設置したら、捨てずにすむようになって嬉しかった生ごみベスト5を報告しましょう。

5位は、しめじの石づき。他のきのこに比べてしめじって捨てる部分がちょっと多めですよね。

4位は、豆苗の根っこ。かさばるので6つくらいに切り分けてから投入します。根っこの隙間に空気もはらむでしょうから、コンポストの土の中で微生物に空気を提供してくれるかも。

3位は、コーヒーのカスや茶葉。ほぼ毎日出るので通算すると結構な量に。コンポスト内を良い匂いにもしてくれるかも。

2位は、キャベツや白菜の芯。我が家は人参やごぼうやれんこんなどは皮ごと調理して食べていて、野菜くずがそれほど多く出ないのですが、それでもキャベツや白菜の芯は食べないし大きいので、捨てずに堆肥にできるのは嬉しい。これらも包丁で多少分割してから投入。

映えある第1位は…バナナの皮です！子どもたちは3人ともバナナが好きで、しょっちゅう食べます。皮にもいくらか糖分があるでしょうから、葉っぱや根っこに比べてたら微生物も喜んでいいるに違いありません。果物の皮ではバナナの他にも、リンゴやキウイやパイナップルの皮なども入れていますが、頻度で考えるとバナナがダントツの1位。

最近、ひとり暮らしのアパートのベランダで手軽にできるキットなども販売されているようです。もしまだ未経験のかたがいましたら、生ごみが肥料になっちゃうコンポスト、おすすめします。何億匹もの微生物=ペットを飼ってみる、みたいな感じでいかがでしょう。

